

委員会審査

総務教育常任委員会

質疑 街路灯のLED化の進捗状況と効果は。
答弁 現在の進捗率は97%である。LEDは蛍光灯よりも寿命が長く電気料も安いので、地域住民の財政負担がかなり減っているものと評価できる。

質疑 スポーツ振興事業で開催された各種イベントの経済効果は。
答弁 観光庁の簡易測定モデルを用いた経済波及効果は、全日本体操選手権が3億2,800万円、チアリーダー世界選手権が1億8,100万円、レスリング女子ワールドカップが1億8,600万円、榛名山ヒルクライムが1億6,000万円である。また、テレビや新聞によるパブリシティ効果も加えるとさらに大きな効果があると考えている。

市民経済常任委員会

質疑 鉄くず、アルミ、古紙類などの物品売払収入が前年度に比べ、約2,200万円増額となっているが、その理由は。
答弁 鉄およびアルミの単価上昇によるものである。

質疑 特定求職者雇用開発補助金が前年度に比べ、半減している理由は。
答弁 60歳以上の従業員を継続して雇用する事業所が増えたため、ハローワークを介して再就職する高齢者が減ったことや、法定雇用率にのっとった障害者の雇用が進んだことなどが挙げられる。



圧縮加工された鉄くず



駅西口に設置された案内板

都市集客施設建設特別委員会

質疑 高崎芸術劇場建設事業における電波障害対策委託料の内容と対象世帯数は。
答弁 高崎芸術劇場の建物の高さから電波障害の発生を予測し、昨年度中にケーブルテレビの敷設を行ったものである。対象世帯は、戸建てが1世帯、集合住宅が4世帯の計5世帯である。

各常任委員会、都市集客施設建設特別委員会において、付託された議案などを審査しました。質疑・答弁の一部を掲載します。

保健福祉常任委員会

質疑 放課後児童クラブの運用における入所の実態をどのように把握しているのか。
答弁 放課後児童クラブは、地域の人やクラブに入所する保護者などからなる運営委員会で運営しており、児童福祉法の基準に基づき各クラブの事情に合わせた入所基準を設けている。入所希望が増え過密となる場合は、各クラブの要望を聞きながら増設等の対応をしていく。

質疑 B型肝炎個別予防接種委託料における接種率は。
答弁 平成28年度の接種率は53.8%、29年度は100.8%となっている。28年度は事業開始年度で、接種期間が半年間だったため、半数となっている。

建設水道常任委員会

質疑 高崎駅周辺案内板設置工事の内容は。
答弁 平成29年10月に完成した駅西口駅前広場の再編整備に併せて、駅前広場の利用者がわかりやすく使いやすいように、一般車乗降場、タクシー乗り場、高崎アリーナシャトルバス乗り場などの案内板を10基設置した。

質疑 城址公園の桜植栽工事で植えた桜の本数は。
答弁 平成27年度から3カ年でお堀の土壁に桜を植栽しており、27年度に11本、28年度に12本、29年度に12本の計35本を植栽した。

質疑 理科室や、悩める子どもの駆け込み寺的な存在として重要な役割を果たす相談室など、特別教室へのエアコンの設置状況は。
答弁 特別教室のエアコン設置率は44%である。未設置の特別教室は使用状況を確認しながら設置を検討したい。なお、学校へのエアコン整備については、国が



小・中学校の暑さ対策
高崎 まつり 田村 理 (日本共産党)

対応を検討する動きもある。ので、動向を注視したい。

質疑 山車まつり市内巡行の中止について、市街地から離れた町内から助かったと安堵の声を聞いているが、一方で猛暑に見舞われるのは、もっと早い段階で想定できたはずといった疑問も聞いている。大きな課題が浮き彫りになったが、今後

質疑 高崎渋川バイパスで基準値を超える鉛とヒ素が検出された報道があったが、本市で産業廃棄物処理の不適正な事例はないのか。
答弁 平成23年に産業廃棄物行政が県から移譲され、排出事業者や産業廃棄物処理業者への許可可、不適正処理の監視とともに市内処理業者への立入検査を行っている。今後も生活環境保全のため、産業廃棄物の適正処理の指導に努めていく。

質疑 生活保護利用者の健康状態を含め、稼働能力を



産業廃棄物処理
生活保護者への就労支援
依田 好明 (日本共産党)

総合的に判断して、利用者に沿った就労支援をすべきと考えるが、見解は。また、就労支援員の人員体制は。
答弁 15歳以上65歳未満で、疾病による就労阻害要因のない被保護者に対し、求職活動を支援している。また、疾病等がある人に対しては、医師の意見を聞き資格や経験などを考慮した就労支援を行っている。

なお、就労支援員は3人配置しており、関係機関と連携しながら自立支援を行っている。



たごひきつづふえす

の対応は。
答弁 来年以降も猛暑が想定されるため、できる限り早い段階から、山車巡行ルートやイベントスケジュー

質疑 上野三碑がユネスコ世界の記憶登録から1周年となるが、記念式典などの取り組みは。
答弁 登録1周年に向け、上野三碑をつなぐ会では、9月15、16日に「たごひきつづふえす」として、子どもたちが紙芝居やゲームを通じ、楽しく上野三碑を学べるイベントを開催する。また、登録推進協議会でも



上野三碑登録1周年に向けて
協議体の活動
清水 明夫 (新風会)

1周年記念式典の開催を計画している。

今後来訪者の増加に向けて、取り組んでいきたい。

質疑 地域包括ケアシステムの環として各協議体が発足しているが活動内容は。
答弁 既にある支え合い活動など地域の状況を把握する作業や高齢者の見守りのため担い手の募集をする取り組みがある。さらに、買い物困難地域に移動販売車を手配したり、高齢者の居場所を開設した協議体もある。協議体の中心は、地域住民であるため、住民の意向を大切に取り組みを推進していきたい。



さらに詳しい内容は会議録で

本会議や委員会の内容を記録した会議録は、市議会ホームページ（会議録検索）や以下の施設で、どなたでもご覧いただくことができます。今回の本会議については11月下旬に公開予定です。

- ・市民情報センター（市役所1階）
- ・高崎市立図書館
- ・倉淵公民館図書室

